～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 胃癌手術患者の周術期栄養管理の検討 』
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者 外 科 職位・氏名 准教授・二渡 信江

【試料・情報の利用目的】

がん診療における栄養管理の重要性は、以前より報告されています。特に進行胃癌患者では、術前に栄養状態が不良であることが少なくありません。また、術後胃切除術に伴う食事摂取量の減少や体重減少などは、予後に影響を与えていることも報告されており、周術期の栄養管理は重要と考えられています。そこで、当院で胃癌手術を受けられた方のカルテ等の情報を利用し、周術期の栄養状態の把握、今後の胃癌手術患者の栄養改善に向けて検討します。この研究で得られる成果は、胃癌周術期の栄養状態の改善につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 既往歴、手術方法、周術期合併症の発生状況、術後化学療法の有無、個人情報(年齢、性別、身長、体重、経口摂取量)、採血データ、病理組織結果、再発、転帰 等
期間: 2010年1月1日～2026年8月31日
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2023年10月14日より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当せず

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2010年1月～2023年8月までに東邦大学医療センター大橋病院
外 科において、胃癌の手術を受けた方おおよそ450名
方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 二渡 信江 役職: 准教授

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 外科 二渡 信江

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023年12月31日までに下記へご連絡下さい。社会的に弱い立場にある方、認知症や知的障害のある方、亡くなられた方の代諾者の方も同様です。申し出のあった方の試料・情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外 科

職位・氏名 准教授・二渡 信江

電話 03-3468-1251 内線 7179